

懸命ではなく「賢明」に働くビジネスパーソンへの自己変革 ブレイクスルー思考 EX

—過去の延長線上に未来はない— 松永 譲治 著

生活やビジネスといった私たちの行動の前には、無意識でも必ず何らかの思考があり、そこから生まれる思いがあります。その漠然とした思いを明確な目的や目標に変換して叶え、実現するのがブレイクスルー思考です。

環境が激変し混迷する現代、過去や現在を分析し未来への道を創出するという従来の思考には限界が来ています。過去の延長線上に未来はなく、未来は私たちの脳の中で創られます。今こそ私たちは、新たな未来のあるべき姿を“想像/創造”し、その実現を図るべき時です。

目的思考、ビジネス思考、システム思考・デザイン思考などのエッセンスが凝縮され、思考のOSとして活用することで、懸命ではなく「賢明」に働くビジネスパーソンに自己変革させてくれる一冊です。

- 第I章 ブレイクスルー思考へのイントロダクション
- 第II章 システム観で観える世界へ
- 第III章 ブレイクスルー思考の進め方 … 4つの思考フェーズ
(人間フェーズ・目的フェーズ・未来解フェーズ・生解フェーズ)
- 第IV章 ブレイクスルー思考を活用しよう



2020年8月刊行 A5・197頁
ISBN978-4-88372-573-1 C3034
本体 1,500円 (送料実費)
請求書金融機関にお振込下さい

一橋大学ビジネススクール国際企業戦略専攻 教授 楠木 建氏 推薦

問題解決における問題のほとんどは、どこかで「手段の目的化」が起こることにある。裏を返せば、目的と手段の連鎖を間違えさえしなければ、問題解決はぐっと容易になる。また新たな目的や価値の創造とそれを実現するシステムデザインは戦略ストーリーの策定にも活用可能だろう。そのための方法論がここにある。



..... <お申込書 (FAX : 03-3511-4073) >

お送り先 ご住所	(〒 -) Tel:	Fax:
御社名		
ご所属	お役職	
お名前	備考	

1.お申込によりいただいた個人情報は、当本部個人情報保護方針 (<https://www.jpc-net.jp/>) に基づき、安全に管理し保護の徹底に努めます。2.個人情報は書籍発送ほか資料等の作成、当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、顧客分析・市場調査のために利用します。3.法令に基づく場合を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。4.案内状や発送を外部に委託することがありますが必要な個人情報だけを開示しそれ以外に使用させることはありません。5.求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。当部または総務部個人情報保護担当窓口 (Tel.03-3511-4003) までお問合せください。【責任者：個人情報保護管理者 (総務部長)】

<みなさまから推薦文をいただいています>

本書はブレイクスルー思考が理解できるばかりでなく、課題解決にブレイクスルー思考をどのように使っていけばいいのかを実例を取り上げながら本当にわかりやすく説明しています。特に企業の新任役員や新任部長がブレイクスルー思考を身に着ければ大きな力となり、会社の発展や日本経済の発展に寄与するものと確信しています。ブレイクスルー思考では、ファシリーターという造語でリーダーの思考を鍛えています。

私は1996年、新任取締役経営戦略室長の時にこのブレイクスルー思考に出会いました。当時中京大学教授だった日比野省三先生にブレイクスルー思考に関する社内研修をやっていただき、事業部メンバーを中心に5チームくらいで課題解決に取り組みました。私も若手役員チームを作り参加し2週間に一度くらい指導いただきながらステップを踏んで進みました。目的は何か、その目的は何か、またその目的は何かを24時間考え続けたことなど思い出します。その中でウオシュレットチームの活動が後々大きな成果に結びついていきました。今でこそ公開できますが、未来の棚に掲げておいたいろいろな開発テーマが10年以上かけて実現できお客様に喜ばれたことです。自動開閉、自動洗浄（ノンタッチ）キレイ除菌ノズル洗浄、空飛ぶウオシュレット、自己発電リモコンなどが生まれました。

その後、大阪支社長、マーケティング本部長、販売推進グループ長をなど1～2年ごとに代わり社長就任しましたがブレイクスルー思考が身についてきたのか大きな課題に次々と取り組むことができました。「当社は何のために存在するのか？」を常に目的、根本に戻って考え続けました。「未来のあるべき姿からを現状どうすべかを考え続ける」「当社がなくなったら人々は困るだろうか？」「ずっといてほしい会社になるにはどうすればいいか？」など、こんなことを考えていると企業理念の持つ意味がよくわかってきたのです。そこで社長就任後に取り組んだのは企業理念の再構築でした。そして出来上がった企業理念は創業者の精神に近いものとなったのです。本質の追求、根本の追求、何のための会社かを追求することが本当に大事だとよくわかってきました。現在その企業理念は世界中のグループ会社で毎日唱和され一体感の醸成に大いに役立っています。私はこれもブレイクスルー思考がもたらした大いなる成果と確信しています。

ぜひ本書を読んだ皆さんはどんなことでもいいので、まず一つ簡単な課題解決にブレイクスルー思考を使ってみてください。何度かやっているうちに自分の思考が変わってきてどんな課題にも気軽に取り組んでいけるようになると思います。皆さんの力が日本を、そして世界を変えます。

元TOTO代表取締役会長・社長 木瀬 照雄

本書では、世の中に存在するモノ・コトは、すべてシステムと認識できていると考えている。つまり、万物はすべてシステムである。このようなシステムというものをどのようにして創っていけばよいか。すなわち、システムデザインはどのように進めていけばよいか。それを丁寧にかつ的確に、そして要領よく述べたものが本書である。イノベーションを起こそうと思っている人、改善を考えている人、新しく役にたつものを創ろうと思っている人にぜひとも読んでいただきたい一書です。

日本システムデザイン学会会長・早稲田大学名誉教授（工学博士） 黒須 誠治

人類に残された唯一の特権は創造である」とソニーの創業者の井深大は断言しました。しかし、脳は言葉の詰まった部屋状態です。創造の種が満載ですが、うまく引き出せず悩みます。そのドアの掛け金を外すことで閃きに至ります。それがブレイクスルー思考です。本書は、手順に従って進めば、その掛け金をはずして閃き、新たな発想に至るわかりやすいガイドラインの書で、企業の企画マンにお勧めの書です。

日本創造学会会長 田村 新吾

松永さんは営業のたたき上げ出身で、本社ではその経験を踏まえ営業企画・推進・変革・教育などの責任者として指揮を執ってもらった。強い目的意識と使命感で自ら高い目標を設定し、あるべき姿の実現に果敢にチャレンジすることで、常に結果を出してくれた。その彼の頭の中にこのような思考エンジンが組み込まれていたことは本書で初めて知った。ますます激動・混迷を深めるビジネスの最前線において、ワンランク上のパフォーマンスを目指すビジネスパーソンにはぜひお勧めしたい一冊である。

元A I U保険会社（現A I G損保）代表取締役会長・社長 吉村 文吾